



清流news

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

Tel 042-514-8309

発行日 1月・4月・7月・10月

Vol. 123

発行
日野市
環境共生部
緑と清流課

浅川流域
連携事業

あさかわ写真コンクール

第10回

～しぜん・ひと・まち～



あさかわ写真コンクールは、日野市の中央を流れる「浅川」の魅力を広く人々に伝えるため、日野市と八王子市の連携事業として開催しています。

皆様に支えられ、今年の開催で10回目という節目を迎えることができました。ここに至るまでにたくさんの方々から、浅川との共生の中で紹介したい風景や生き物などの写真を応募していただいております。今回も皆様からの浅川の魅力あふれる写真をお待ちしております。

募集要項は以下の通りです。

募集期間 2020年4月20日～2020年9月2日（必着）

撮影範囲 浅川（北浅川）、南浅川 ※支流は除きます。

- 応募条件**
- ・プリントした写真で応募の場合は、縁無しA4サイズ（210×297mm）であること。
 - ・電子データで応募の場合はJPEG形式であること。組写真は対象外とします。
 - ・未発表及び他に応募していない、自分で撮影した作品であること。
 - ・極端な補正、合成等の加工を行った作品でないこと。
 - ・撮影のため環境に人為的な加工をするなど、生きものや環境にダメージを与えずに撮った写真であること。
 - ・縦、横、カラー、モノクロの区分はありません。

部門 中学生以下の部・一般の部（高校生以上）

応募点数 一人5点まで

応募方法 郵送・電子メールいずれの場合にも、必要事項を明記した所定の応募用紙を同封・添付して、ご応募ください。電子メールでの応募の場合は、1通につき作品データ1点の添付としてください。（メール容量が5MBまで）

応募先 〒191-8686 日野市神明一丁目12番地の1
日野市緑と清流課
あさかわ写真コンクール担当 宛
メールアドレス seiryu@city.hino.lg.jp



第9回あさかわ写真コンクール
一般の部 最優秀作品
『秋、ふれあい橋の夕焼け』 設楽誠一



第9回あさかわ写真コンクール
中学生以下の部 最優秀作品
『晩秋の浅川』 城ヶ崎一心

詳細な募集要項は、緑と清流課窓口や市のホームページ等で入手できます。
その他、詳細は緑と清流課までお問い合わせください。

向島用水

水門を改修しました



向島用水の水門は、万願寺歩道橋ふれあい橋の上流（浅川右岸）にあり、浅川の水を向島用水へ取り入れ、新井地区周辺の農業用水を流す目的として利用されています。降雨時などは向島用水組合や日野市職員が開閉して、水量を調整するという重要な役割を担っていますが、経年の稼働による老朽化が著しかったため、この度改修することと

なりました。（工期…1月下旬～3月末）

今回の改修工事で電動式開閉装置を設置したため、水門の開閉を電動ですることができるとなりました。また、転落防止柵も改修し、安全性の向上を図っています。

新しくなった水門は、4月1日より稼働しています。

（※写真は改修前のものです）



改修前の向島水門

浅川潤徳水辺の楽校

平成17年度から浅川潤徳水辺の楽校としての活動が始まり、はや10年以上が過ぎました。様々な活動を通し、水辺の楽校は今もなお、多くの子どもたちと触れ合いながら活動しています。



●水辺の楽校とは

水辺の楽校は、教育関係者・河川管理者・市民団体が連携して、子どもの河川の利用を促進し、地域における子ども達の体験活動の充実を図るというものです。潤徳小学校の水辺の楽校は、先生方・市役所・地域にお住いのボランティアの方々と活動を行っています。

●基本的な活動

活動としては月一回程度、学校にて幹事会を開き、学校・市役所・市民ボランティアが水辺の楽校推進協議会として次のイベントの準備について打合せを行ったり、直近のイベントの報告・反省などを話し合ったりしています。イベントでは、推進協議会のメンバーが中心となってイベント

の運営を行い、安全管理や様々な遊びを教えたりしています。

●浅川潤徳水辺の楽校について

潤徳小は近くに浅川が流れており、学校裏には向島用水親水路として、とんぼ池があることからビオトープにもなっております。基本的に、浅川のふれあい橋周辺で水辺の楽校の活動をしており、5月には竹笛を作ったり、石に絵を描いたり、竹馬・竹ぼっくりに乗って遊んだり、橋から縄を垂らし、ターザンロープとしてブランコのようにして遊び、8月は高い気温の中、浅川に入り、ガサガサやボート、飛び込みなど思いっきり水の中で川遊びを楽しみ、1月には日野市でも大きな、どんど焼きを行います。やぐらの材料集めから、やぐら組み、当

日の火付けまでを水辺の楽校のメンバーに加え、PTAの方々の力を借りながら、行っています。

●スタッフの募集について

10年以上活動をしてきている中で、水辺の楽校設立から関わってくださっている市民のボランティアの方々も高齢化という問題に直面しています。そこで、水辺の楽校の活動を一緒に手伝って下さるスタッフを随時募集しています。現在活動を共にしている方々は、もともと学校にお子さんやお孫さんがいたり、見回りで学校の子どもたちと関わりがあったりという方が中心ですが、潤徳小に関わりがない方でも大歓迎です。子どもと遊ぶのが好きだったり、水辺に関わることで自然環境に興味がある方などなど。次の世代に日野市の水と緑を伝えていく担い手になっていただけたらと思います。

問い合わせ

緑と清流課 水路清流係
☎ 042-514-8309

浅川潤徳水辺の楽校

浅川で遊ぼう6「どんど焼き大会」

2020年1月19日

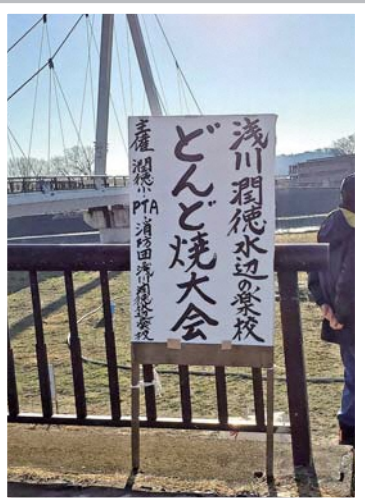
浅川潤徳水辺の楽校の活動の中でも一大イベントであるどんど焼き大会を、1月19日(日)にふれあい橋下の広場(潤徳小学校側)にて開催しました。

どんど焼きとは？

どんど焼きは、竹や藁などで組み立てたやぐら(賽の神)に、正月飾りを施し火を点け、火が鎮まったところで笹竹の先端に付けた団子(まゆ玉)をあぶって食べます。この火で焼いた団子を食べることで厄払いをし、新年を無病息災で過ごせることを願うという意味合いがあります。

どんど焼き当日は、約500人の方にご来場いただきました。各家庭より正月飾りを持参していただき、やぐらを飾り付けることができました。

※当日燃やしたやぐらは消防団により鎮火し、燃えかす等のごみは後日完全に撤去致しました。



どんど焼き点火



団子を焼く様子



浅川で遊ぼう7「浅川で野鳥観察」

2020年2月22日

浅川潤徳水辺の楽校における2019年度最後の催しとして、野鳥の観察会を行いました。

当日は、参加した子どもたちが野鳥に詳しいスタッフから双眼鏡の使い方を教えてもらい、一生懸命に観察をしていました。また、野鳥について丁寧な説明もあり、参加した方々は、野鳥に対する知識や、興味関心を抱いたことと思います。

また終わりには、水辺の楽校役員よりおしるこが振舞われ、子どもたちは喜んでいました。



野鳥観察の様子



清流ニュースにひとこと

清流ニュースに、「こういう記事を載せて欲しい！」や「こんなイベントを企画して欲しい！」など、皆さんからのご意見・ご要望を募集したいと思います。次号以降の清流ニュースの編集の参考にさせていただきます。

宛先

(お手紙、FAX、メール等でお願いします)

日野市役所 環境共生部 緑と清流課
清流ニュース担当宛て

〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1

FAX 042-583-4483

メール seiryu@city.hino.lg.jp

令和2年2月1日(土) 日野市環境フェアを開催しました



式典の様子

令和2年2月1日(土)にイオンモール多摩平の森イオンホールにて「日野市環境フェア」を開催しました。

今年度の環境フェアは「地球温暖化」をキーワードに開催し、温暖化の仕組みや対策への取り組みを解説したパネルの展示、ソーラーカーづくりや間伐材を用いたブローチづくりなど、環境をテーマにしたワークショップ、そして、科学の鉄人らんま先生によるパフォーマンス「環境実験ラボ」、エコキャラクター「エコアラ・エコクマ」による省エネ啓発ショーなど盛りだくさんの内容で、子供から大人まで約500人の方にご来場いただき、大いににぎわいました。

ご来場いただいた皆様にとって、省エネや自然環境の大切さを考えていただくきっかけとなり、取り組みの輪が広がることを願っています。一人ひとりの取り組みは小さなものでも、大勢が取り組めば大きな力になります。是非、身近なこと、できることから省エネを始めてみてください。

今後も引き続き、ふだん着事業を通して、「青い地球をいつまでも」次の世代へ引き継ぐことができるよう地球温暖化防止の普及啓発活動を行って参ります。

パネル展示コーナー



ワークショップの様子



科学の鉄人らんま先生のパフォーマンス



省エネ取り組み賞「平小一句一魂」チーム

普通河川等占用使用料 納付のお知らせ

日頃より、日野市河川占用業務にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

毎年「日野市普通河川等管理条例」に基づき、用水路等の普通河川を占用されている皆様に普通河川等占用使用料請求書及び納付書を送付し、占用料金を納付していただいています。

4月中に請求書及び納付書を送付する予定となっていますので、お手元に届きましたら納付書に記載されている所定の機関にて納付していただきますようお願い申し上げます。

なお、河川占用の継続申請の手続きの用紙を2月に該当の方にお送りしています。まだ手続きが済みでない方はお手続きをお願いいたします。申請書等を紛失されたしまった方は、緑と清流課までご連絡下さい。

また、皆様の占用されている橋梁等におきまして、規格や所有者等の変更があるようでしたら、その都度緑と清流課までお問い合わせください。

今後とも日野市政へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

問い合わせ

日野市役所緑と清流課 水路清流係
☎ 042-514-8309 (直通)

「緑の募金」にご協力を

(公財)日野市環境緑化協会と市の共催で、4月1日(水)から5月29日(金)までの期間に緑の募金運動を重点的に実施します。

この募金は、学校や公園など身近な地域の緑化推進や緑地の整備等に使われます。

緑豊かなまちづくりのため「緑の募金」にご協力をお願いします。

詳細は日野市役所緑と清流課ホームページをご覧ください。

問い合わせ

日野市環境共生部
緑と清流課 公園緑政係
☎ 042-514-8307 (直通)

ウェルカムツリーや生け垣で 市内に緑化をしませんか

市は、お子さんが生まれた方や転入された方又は新築された方などが記念樹を植栽する場合に歓迎を表し、ウェルカムツリーとして苗木代を10,000円までを限度として補助します。

また、生け垣により緑化される場合も同様の補助をします。

この制度は、工事着手前に必ず申請、審査が必要です。

問い合わせ

日野市環境共生部
緑と清流課 公園緑政係
☎ 042-514-8307 (直通)



古い時代から、日野宿(今の日野本町、明治26年(1893)日野町と改める)では、宿から西方に向かう滝山みち、南方にむかう相模みち(高幡不動みちともいう)等と並んで、東南方に向かうものを市場みち(別称一の宮往来)と呼んでいた。浅川以南の村々も市場みちと呼んで市場への道を指した。その経路は、日野宿、日野万願寺、下田、新井、ここで浅川を渡り、中島裏、根川新田すそ、上落川、そして、下河内を経て、下落川神明社前で稲城(稲毛)街道と結ぶ。目指す市場は関戸郷にあった(もっともこの道は、他村との連絡道でもあり、大切な生活路であった)。室町時代末期、永禄7年(1564)9月

この公園のあたりは、中島集落の北の入口にあたる。この集落は、都市化される前は、農家5~6戸から成る日野市新井の一字だった。浅川堤防から南下する道は、この公園の北30メートルあたりで左折して、東南方に向かっていった。

●市場みち公園(街区公園128)

所在地…新井370-4 / 面積…233㎡ / 開園日…平成10年8月14日



(C) 2017 PASCO CORPORATION.

(C) 2017 INCREMENT P CORPORATION.

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

21日、小田原北条氏政は、武蔵国関戸に市開設の掟を布告、月の3と9の日、計6日の市を開かせた。市日には近郷近在から民衆が集まり、大層賑わった。

ところが、天正18年(1590)7月小田原北条家は豊臣秀吉軍に攻められ滅亡した。この結果、この市も廃絶したと見られるが、その後復興したか否かは、資料の上では定かでない。ただ、関戸はその後も鎌倉街道の宿場として繁栄したことは確かである。

用水守募集

日野市緑と清流課では、「用水守」として市内の用水路の清掃活動をおこなって下さる方を随時募集しています。

かつて東京穀倉地帯と呼ばれた日野市には、江戸時代に多摩川・浅川からひかれた農業用水路が今も市内を網の目のように流れています。これら水路の総延長は116キロにも及ぶといわれています。また、市内には数多くの湧水が湧いているなどたいへん水環境に恵まれています。

日野市では、こうした恵まれた水環境を次世代に伝えるため、清掃・維持作業など様々な活動を行っています。一方で、市民の皆さまの水への関心も非常に高く、多くの方が身の回りの水辺を自ら清掃・維持してくださっています。

このような、ボランティアで水辺維持の活動をされている皆さまを少しでも支えることができると生まれたのが「日野用水守制度」です。「用水守制度」は日ごろ活動をする範囲を決め、あらかじめ「用水守」として登録いただくことで、万一の事故に備えた、市民総合賠償補償保険の対象者となります。

市では、今後も市と市民の皆さまで協力して良好な水辺の環境を維持管理・保全をしていきたいと考えております。

現在、400名以上の方が、用水守として活動しております。登録は、個人・グループ・自治会・企業など多くの方々を対象としています。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

問い合わせ

日野市緑と清流課

☎ 042-514-8309



街路樹キーパーを募集

街路樹キーパー制度とは、市民の皆さまに市が管理している街路樹の守り手・キーパーソンとして、維持管理や緑化活動を行っていただくボランティア制度です。

街路樹キーパーには名刺を交付し、落ち葉清掃、除草、ゴミ拾い、草花の植栽・育成管理（市と協働）、水やり・病虫害や枯損の点検、小枝の剪定などを行っていただき、市では、そのサポートとして道具類（ほうき、熊手など）の貸し出し、ボランティア保険の加入、活動に関する相談、ボランティア袋の支給・回収などを行います。

市民協働による、より良いまちづくりに、多くの市民の皆さまのご協力をお待ちしています。

- 申込方法 活動場所・内容などを相談の上、所定の申込書（市役所3階緑と清流課）などを提出
- 問い合わせ 緑と清流課公園緑政係

街路樹キーパー名刺の紹介

見本①

団体用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

問合せ先： 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp



個人用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

問合せ先： 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp



見本②

団体用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

問合せ先： 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp



個人用

みどりある街をみんなで守り育もう。

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

問合せ先： 日野市役所 緑と清流課
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1
電話 042-585-1111 内線 3621・3622
FAX 042-583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp



見本③

団体用

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 ○○○自治会

日野 太郎

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

《問合せ先》日野市役所 緑と清流課
〒191-8686
東京都日野市神明1-12-1
電話(042)585-1111 内線 3621・3622
FAX(042)583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp



個人用

日野市公認 街路樹キーパー
登録No. 1 日野 花子

有効期間：2020.4.1～2025.3.31

《問合せ先》日野市役所 緑と清流課
〒191-8686
東京都日野市神明1-12-1
電話(042)585-1111 内線 3621・3622
FAX(042)583-4483
E-mail: ryokusei@city.hino.lg.jp





河童橋

ベンチに座ると目の前には農地が広がります。以前は一面の田んぼでしたが、今では一カ所だけになってしまいました。遊歩道の植え込みに、ウマノ

ここには水辺を楽しむ様々な工夫が施されています。かつて橋の下は飛び石を渡って歩く事ができ、遊歩道からは水辺に近づく階段が何カ所もあって、子供たちが簡単に水の中に入るができます。夏には水生生物の観察会も行われ、子供たちが遊ぶ姿がよく見ら

れます。水路はコンクリートに囲まれています。よく見るとブロックに穴が空いていて、魚達の住みかになっています。こうした魚巢ブロックはこの下堰では多く見られ、そのためかハヤやウグイなどが群れで泳ぐ姿を見ることが出来ます。そして、それらを求めてアオサギやカワセミも頻繁に用水路を訪れています。遊歩道沿いは桜並木になっていて、花の季節には近く得多摩川の桜並木と合わせて散策するのによい場所です。



下堰魚巢ブロック

スズクサという植物を見つけました。かつては田んぼの畦道などにも多く生えていたと思われるこの植物ですが、探してみると、すぐ脇の団地や道路の植え込みにも生えていました。造成されても根があれば復活できるので、以前この地に生えていたものが生き延びたのかも知れません。昔ここにはどんな景色が広がっていたのでしょうか。

文 みずとくらす、ひの
松川直子



水辺のある風景 日野50選

選ばれた水辺を紹介します

③ 日野用水下堰親水路

成就院の南から日野用水上堰を分水し、新東橋の下で滝のように流れだして日野用水下堰が始まります。ここから500mほどが、日野用水下堰親水路です。

水辺のある風景50選

ガイドツアー (2020年2月1日)



昨年12月に日野50選を巡るガイドツアーが終了しましたが、2月1日(土)に番外編として追加でガイドツアーを行いました。

今回のテーマは「日野市内を対岸から見よう」ということで、多摩モノレール柴崎体育館駅から出発し、多摩川左岸の土手沿いを歩いて台風19号で陥没した日野橋を見学しました。

その後は、府中用水取水門やくにたち郷土文化館を訪れ、日野市外の用水も学びました。また、3月7日(土)に予定していたガイドツアー(広報2月15日号掲載)は、新型コロナウイルスの影響により中止と致しました。日時は未定ですが、同様のコースで再度行う予定です。その際は是非ご参加ください。

緑と清流課主催イベントに関するお知らせ

2月頃より、新型コロナウイルスが流行しており、全国的に様々なイベント等が中止となっています。

緑と清流課においても、水路清流係、公園緑政係ともに年間を通じて様々な催しを行っていますが、新型コロナの影響で中止の判断をする場合があります。

各催しの実施の有無につきましては、ホームページを参照していただくか、緑と清流課へお問い合わせください。

問い合わせ

水路清流係 ☎ 042-514-8309
公園緑政係 ☎ 042-514-8307



ほ乳類の仲間の動物たち



タヌキ

日野市は緑豊かな街です。市の南部に連なる多摩丘陵、中央部の台地と低地の間に伸びる崖線（河川によって削られた崖）、多摩川・浅川の河川敷、そして街中の公園や緑地などに多くの緑が残されています。このコーナーでは、そんな日野市に暮らす身近な生きものたちを紹介していきます。まず第1回目は、ほ乳類の仲間の動物たちです。

●街中を歩き回る動物たち

皆さんは夜に外を歩いていて、道端のヤブの中でガサガサと音がしたり、何かが道を横切っていくのを見たことは無いでしょうか？もしかしらそれは、野生の動物かもしれません。その中でも、最も身近に暮らして出会う可能性が高いのはタヌキでしょう。

タヌキは丘陵地の雑木林や街中の緑地などを住みかにしています。雑食性で、植物の果実からトカゲや昆虫などの小動物、畑の作物から人間の捨てた残飯まで、食べられる物は何でも食べます。タヌキの住んでいる場所には、噛み痕のついたマヨネーズ容器や缶詰がよく落ちています。

元々の生息地は雑木林や田んぼ、畑が一体となって存在していた里山と呼ばれる環境です。しかし街の発展とともに、そうした環境は減っていき、緑地も道路や住宅街で分断されてしまいました。そのためタヌキたちは、夜になると餌を探しながら、街の中を通って緑地と緑地の間を行き来します。私は自転車通勤しているのですが、仕事帰り

●同じ穴のムジナ

いつも同じ場所（丘陵の団地）で同じ時間帯に、タヌキと出会うことがあります。タヌキの活動時間や周遊ルートはだいたい決まっているようで、ちょうど私が帰る時間とタヌキが出かける時間が一緒なのかもしれません。

昔からタヌキとよく混同され、「同じ穴のムジナ」と呼ばれてきたのがアナグマです。名前に「クマ」と入っていますがイタチの仲間で、イヌ科のタヌキとは全く違う動物です。その名の通り穴掘りが得意で、地中に長いトンネルを掘り住みかにしています。アナグマが掘った穴をタヌキも利用することから、「同じ穴のムジナ」という言葉が生ま



アナグマ

れたのでしよう。

先ほどのタヌキとよく出会う団地では、アナグマともたまに出会います。タヌキもアナグマも移動の際には、道端の側溝や法面、擁壁の上などに人に見つかりにくい場所を巧みに利用して、人知れず街中で暮らしているのです。

この他に市内では、細長いしっぽと額から鼻筋にかけての白い線が特徴のハクビシンや、縞々のしっぽを持つアライグマも近年増えてきています。

●野生動物との出会い方

それでは、これから野生の動物たちと「出会う」ためにはどうすればいいのでしょうか？一番は、「身近に動物たちが暮らしている」と意識することだと思えます。夜でも昼間でも何かの物音や気配を感じたら、その場でじっと立ち止まり、あたりを見回してみてください。多くの場合は、野良猫や風の気まぐれかもしれませんが、それでも時には本当にタヌキやアナグマが姿を見せてくれるかもしれませんよ。

あとかき

大分春めいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は暖冬とのこと、市内では例年のように雪が積もることはありませんでした。昨年は台風19号など大きな災害が多く発生するなど、異常気象が頻繁に起こっています。今年も、今年は穏やかな日々が続く一年であるようお願いばかりです。

清流ニュースも皆様に、心温まる豊かな記事をお届けしたいと思います。本号から日野の自然を守る会の片山さんによる「日野の自然だより」による「日野の自然だより」の連載が開始しました。市内で観ることのできる動植物について幅広く取り上げますので是非ご覧ください。

これからも緑と清流課職員一同、心を一つにワンチームで臨みますので、宜しくお問い合わせします。

(T・K)

文・写真 日野の自然を守る会
片山 敦